

丸山眞男文庫及び丸山眞男記念比較思想研究セン タ―関係主要年表並主要人事

一、主要年表

年月日

事項

一九九六年 八月一五日

丸山眞男氏逝去

一九九七年 二月末

夫人の丸山ゆかり氏より故丸山眞男氏の蔵書及びノート・草稿類を、東京女子大学に一括寄贈したい旨の意向が示される。

二月一八日

東京女子大学理事會、受贈を決定。ただちに丸山家に回答。

一九九八年 一月二三日

大隅和雄図書館長名で、故丸山眞男氏の蔵書及びノート・草稿類が東京女子大学図書館に寄贈される旨の発表文を、文部省記者クラブ宛てに通知する。

一月一四日

『朝日新聞』『毎日新聞』『読売新聞』等各紙で前記発表が報道される。

一月二二日

東京女子大学図書館委員會で、「丸山眞男文庫準備委員會」を下部組織として設置することを決定。

二月 三日

丸山眞男文庫準備委員會が発足、第一回委員會開催。委員長は大隅和雄前図書館長（文理学部教授）。

二月 七月

大隅委員長、海外出張。その間の委員長代行は、今井宏文庫準備委員會委員（文理学部教授）。

四月二七日

東京女子大学創立八〇周年記念行事の一環として、丸山眞男文庫受入記念資料展示「丸山眞男の世界」を開催（於図書館、一般公開は四月二九、三〇日）

五月二七日

七月二七日

第二回丸山眞男文庫準備委員會開催。

九月一八日 八重洲ブックセンター開店一〇周年記念展示「丸山眞男の世界」に、丸山ゆかり氏と共に東京女子大学も協力。
〓一〇月三日

九月二一日 受贈式。「丸山眞男文庫に関する覚書」を、丸山家と東京女子大学との間で取り交わす。式後、大隅委員長と丸山眞男門下の研究者で構成される「(仮称)六人委員会」との初会合。

九月二二日 『朝日新聞』等が「丸山眞男文庫創設へ覚書」として、前日の受贈式を報道。

九月二八日 第三回丸山眞男文庫準備委員会開催。

一〇月二六日 文庫準備委員会委員(黒沢、森ほか)、丸山眞男文庫設置準備のため、東京大学法学部附属近代日本法政史料センターを見学。

一二月五日 文庫準備委員会委員と「丸山眞男文庫協力の会」(「(仮称)六人委員会」の後身)及び丸山家資料整理担当の

牛田尚子氏とによる「第一回丸山眞男文庫設立についての打ち合わせ会」開催。

一九九九年 二月一七日 第四回丸山眞男文庫準備委員会開催。

三月末 図書館地下に丸山眞男文庫室を新設する工事が完了。丸山家よりの蔵書、ノート・草稿類等の漸次搬入を開始(最初の搬入は、三月二三日～二五日)。

五月二五日 第一回丸山眞男文庫記念講演会開催。講師は、隅谷三喜男氏(元東京女子大学長)。題目は「丸山眞男の世界」。図書館において資料展示「丸山眞男と読書」『みすず』読者アンケートより』を同時開催(学内対象は、六月三〇日まで)。

六月一八日 第五回丸山眞男文庫準備委員会開催。

七月 「丸山眞男における学問と思想の形成過程―文献学・書誌学的な基礎調査を中心に―」研究(代表大隅委員長、メンバーは文庫準備委員会委員と丸山眞男文庫協力の会)に対して、三菱財団人文科学研究助成金が授与されることになる。

一〇月三〇日 日本思想史学会大会が東京女子大学で開催され、シンポジウム「丸山思想史学の地平」がおこなわれる(のち大隅和雄・平石直昭編『思想史家 丸山眞男論』ペリカン社、二〇〇二年として刊行)。図書館において資料展示「『日本政治思想史研究』関係資料」を同時開催(学内対象は、一二月二一日まで)。

一〇月三十一日 文庫準備委員会委員（大隅、室伏、黒沢）と丸山眞男文庫協力の会とによる「丸山眞男文庫手稿類整理についての打ち合わせ会」開催。

十一月五日 丸山眞男文庫協力の会メンバーを中心としたノート・草稿類等の調査開始。

二〇〇〇年 三月十三日 第六回丸山眞男文庫準備委員会開催。

三月二十七日 手稿類整理等に関する「第一回丸山眞男文庫についての研究会」（メンバーは、大隅、室伏、黒沢及び丸山眞男文庫協力の会）開催。

四月十九日 「第二回丸山眞男文庫についての研究会」開催。

五月三十一日 第二回丸山眞男文庫記念講演会開催。講師は、福田敏一氏（日本学士院会員、東京大学名誉教授）。題目は「丸山眞男とその時代」（同年十一月、岩波ブックレット『丸山眞男とその時代』として刊行）。図書館において資料展示「丸山眞男とその思想の推敲と伝播の軌跡」を同時開催（学内対象は、六月三〇日まで）。

六月十四日 「第三回丸山眞男文庫についての研究会」開催。

七月二十七日 丸山ゆかり氏等よりの寄付金を原資とする「東京女子大学丸山眞男文庫維持運用基金規程」制定、即日施行（学校法人東京女子大学総務部発行『本部ニュース』第一七六号、二〇〇〇年八月二日参照）。

一二月 図書館による文庫所蔵の図書・雑誌類の整理作業完了。

二〇〇一年 三月三十一日 『丸山眞男文庫寄贈図書資料目録』が完成し、丸山家へ贈呈。関係者にも配布される。

六月一日 大隅文庫準備委員会委員長名で、丸山眞男文庫準備委員会の解散が文書で通知される。

六月二十日 東京女子大学図書館委員会に、前記丸山眞男文庫準備委員会の解散が報告される。

一〇月三十一日 「丸山眞男記念比較思想研究センター（仮称）」（於五一号館）開所式。

一〇月二十四日 第三回丸山眞男文庫記念講演会開催。講師は、武田清子氏（国際基督教大学名誉教授）。題目は「私の出会った丸山眞男と戦後日本の座標軸」（『世界』二〇〇二年八月号に掲載）。

二〇〇二年 一月二十四日

理事会で「丸山眞男文庫の発展的構想」を承認し、「丸山眞男記念比較思想研究センター」の設置を正式決定（東京女子大学比較文化研究所に附置。センター長及びセンター委員会委員長は、大隅丸山眞男文庫顧問・東京女子大学名誉教授・前文庫準備委員会委員長。『本部ニュース』第一九二号、二〇〇二年一月三十一日参照）。

三月 八日

第一回読書会として「自画像の丸山眞男と時代・思想・背景」を開催（丸山眞男記念比較思想研究センター主催、センター開所記念、全三回、一般公開）。講師は、松沢弘陽丸山眞男文庫顧問（北海道大学名誉教授）。

四月二六日

読書会「自画像の丸山眞男」第二回開催。

五月二〇日

読書会「自画像の丸山眞男」第三回開催。

一一月二二日

第四回丸山眞男文庫記念講演会開催（以後、丸山眞男記念比較思想研究センター主催）。講師は、鶴見俊輔氏（哲学者、評論家）。題目は「一九三〇年代の恐怖の持続」。

二〇〇三年 二月二四日

平和問題談話会における丸山眞男の活動の資料として、岩波書店の吉野源三郎氏が保存していた同会の一次資料（段ボール二箱分）が丸山文庫室に寄贈される（前年一〇月に、岩波書店から一〇月二一日付寄贈承諾書を受領）。

六月二六日

第五回丸山眞男文庫記念講演会開催。講師は、入江昭氏（ハーバード大学教授）。題目は「丸山眞男先生とアメリカ」。

九月二二日

東京女子大学比較文化研究所商議委員会で「比較文化研究所と比較思想研究センターの位置付け」を承認し、丸山眞男記念比較思想研究センターの位置付けと運営体制が再確認される。

九月二七日

第二回読書会として「初期丸山眞男の徳川思想史像をめぐって―さまざまな側面から―」を開催（丸山眞男記念比較思想研究センター主催、全三回、一般公開）。講師は、平石直昭丸山眞男文庫顧問（東京大学教授）。

九月二二日

前記丸山眞男記念比較思想研究センターの位置付けと運営体制の再確認を受けて、新しい運営体制発足（センター長及びセンター委員会委員長は、黒沢文貴東京女子大学教授・前文庫準備委員会委員）

九月二九日

読書会「初期丸山眞男の徳川思想史像をめぐって」第二回開催。

一〇月 三日

読書会「初期丸山眞男の徳川思想史像をめぐって」第三回開催。

秋

丸山文庫顧問を中心とする丸山眞男文庫協力の会メンバーによるノート・草稿類等の第一次整理並びに調査終了。引き続き、ノート・草稿類全資料のデータベース化のための整理・調査をすすめる。

一一月二二日

大学評議会に前記比較文化研究所商議委員会で承認された、丸山眞男記念比較思想研究センターの位置付けと運営体制が報告される。

一二月一八日

理事会に前記比較文化研究所商議会で承認された、丸山眞男記念比較思想研究センターの位置付けと運営体制が報告される(学校法人東京女子大学大学運営部発行『本部ニュース』第二一三号、二〇〇四年一月八日、二〇〇四年一月九日開催比較文化研究所商議委員会議事録参照)。

二〇〇四年 一月

二〇〇三年度丸山眞男記念比較思想研究センター委員会、二〇〇四年度事業計画及び予算案を持ち回りで承認。

一月 九日

比較文化研究所商議会で、二〇〇四年度丸山眞男記念比較思想研究センター事業計画及び予算案を承認(『本部ニュース』第二一三号掲載「丸山眞男記念比較思想研究センターの位置付けと運営体制」中の一部字句修正)。

六月 四日

二〇〇四年度第一回丸山眞男記念比較思想研究センター委員会開催。

六月 二五日

第六回丸山眞男文庫記念講演会開催。講師は、アンドリュース・パーシェイ氏(カリフォルニア大学バークレー校教授)。題目は「社会学者・丸山眞男」(『思想』二〇〇四年八月号に掲載)。二四号館において資料展示

六月 三〇日

「丸山眞男の社会科学関係読書ノート」を同時開催。

東京女子大学文学部及び現代文化学部の両教授会で、丸山眞男記念比較思想研究センター提供の新設科目「比較思想A」「比較思想B」「総合講座・比較思想A」「総合講座・比較思想B」(共通科目、半期完結)の設置承認。

八月 二日

丸山家より丸山眞男宛来翰類の寄託を受け、丸山文庫室に搬入(段ボール二二箱分)。

二〇〇五年 一月 二二日

講演会「丸山眞男を知ろう！」(丸山眞男記念比較思想研究センター主催、全七回、学生対象)開催。講師は、茂木敏夫東京女子大学現代文化学部助教授、湯浅成大同教授、黒沢センター長。テキストは、『文明論の概略』を読む』上(岩波新書)。

一二月二〇日

「東京女子大学における株式会社岩波書店寄附講座に関する覚書」を、岩波書店と東京女子大学との間で締結。二〇〇五年度開講「比較思想B」を岩波書店寄附講座とすることで合意。

二〇〇五年 一月 七日

二〇〇四年度第二回丸山眞男記念比較思想研究センター委員会開催。二〇〇五年度事業計画及び予算案等を承認。

一月 二四日

比較文化研究所商議会で、二〇〇五年度丸山眞男記念比較思想研究センター事業計画及び予算案を承認。

- 三月二十五日 『東京女子大学比較文化研究所附置丸山眞男記念比較思想研究センター報告』創刊第一号を発売。
- 四月 八日 丸山眞男文庫室において蔵書の部分的な一般公開開始（予定）。
- 四月 八日 丸山眞男記念比較思想研究センター提供の共通科目「比較思想A」（前期、講師平石直昭丸山文庫顧問、一般公開）、「比較思想B」（後期、講師松沢弘陽丸山文庫顧問、一般公開）を開講（予定）。

二、主要人事

(1) 丸山眞男文庫準備委員会委員（任期 一九九八年二月三日～任務終了まで）

委員長 大隅和雄（文理学部史学科教授、前図書館長）

委員 今井宏（文理学部史学科教授）

同 黒沢文貴（現代文化学部地域文化学科助教）

同 森一郎（文理学部哲学助教）

同 *室伏信助（図書館長、文理学部日本文学科教授）

同 *伊牟田経子（図書館事務部長代理）

同 *渡辺敏一（図書館情報システム課長）

同 *平塚寿行（図書館情報管理課長）

同 *猪野絢子（図書館情報サービス課長補佐）

同 *内海絹子（図書館情報システム課長補佐）

（一九九八年二月三日現在、*印は職務上の委員）

(2) 丸山眞男文庫準備委員会委員（一九九九年度、但し職務上の委員は除く）

委員長 大隅和雄（文理学部史学科教授、前図書館長）

委員 今井宏（東京女子大学名誉教授）

同 濱井修（文理学部哲学教授、新任）

同 黒沢文貴（現代文化学部地域文化学科助教）

同 森一郎（文理学部哲学助教）

（一九九九年六月一八日現在）

(3) 丸山眞男記念比較思想研究センター長及びセンター委員会委員（発足時）

センター長 大隅和雄（丸山眞男文庫顧問、東京女子大学名誉教授）

委員長 同

委員 松沢弘陽（丸山眞男文庫顧問、北海道大学名誉教授）

同 平石直昭（丸山眞男文庫顧問、東京大学教授）

同 *楠明子（比較文化研究所長、文理学部英米文学科教授）

同 *国岡彬一（図書館長、文理学部日本文学科教授）

（二〇〇二年一月二四日現在、*印は職務上の委員）

(4) 丸山眞男記念比較思想研究センター長及びセンター委員会委員（二〇〇三年九月二二日～二〇〇五年三月三一日）

センター長 黒沢文貴（現代文化学部地域文化学科教授）

委員長 同

委員 大隅和雄（丸山眞男文庫顧問、東京女子大学名誉教授）

同 松沢弘陽（丸山眞男文庫顧問、但し〇三年九月二二日～九月三〇日及び〇四年一月一日～〇五月三月三一日の顧問在任期間、北海道大学名誉教授）

任期間、北海道大学名誉教授）

同 宮村治雄（丸山眞男文庫顧問、但し〇三年一月一日～〇四年九月三〇日の顧問在任期間、東京都立大学教授）

同 平石直昭（丸山眞男文庫顧問、東京大学教授）

同 雨田英一（文理学部教育学研究室教授）

同 *楠明子（比較文化研究所長、文理学部英米文学科教授）

同 *山口則子（図書館長、文理学部数理学科教授）

同 *田中志津子（教育研究支援部長）

（肩書きは、二〇〇三年九月二二日現在、*印は職務上の委員）

(5) 丸山眞男文庫顧問(二〇〇一年度～二〇〇四年度)

二〇〇一年度 大隅和雄、松沢弘陽、平石直昭

二〇〇二年度 大隅和雄、松沢弘陽、平石直昭

二〇〇三年度 大隅和雄、平石直昭、松沢弘陽(前期)、宮村治雄(後期)

二〇〇四年度 大隅和雄、平石直昭、宮村治雄(前期)、松沢弘陽(後期)

(6) 丸山眞男文庫協力の会(発足時)

飯田泰三(法政大学法学部教授)

平石直昭(東京大学社会科学研究所教授)

松沢弘陽(国際基督教大学教養学部教授)

宮村治雄(東京都立大学法学部教授)

渡辺浩(東京大学法学部教授)

(7) 丸山眞男文庫協力の会

飯田泰三(法政大学法学部教授)

荏部直(東京大学法学部助教授)

平石直昭(東京大学社会科学研究所教授)

眞壁仁(日本学術振興会特別研究員)

松沢弘陽(北海道大学名誉教授)

宮村治雄(東京都立大学法学部教授)

(一九九八年二月現在、五十音順)

渡辺浩（東京大学法学部教授）

* 「丸山眞明文庫協力の会」協力者（二〇〇四年度）

中田喜万（東京大学大学院法学政治学研究科）

河野有理（東京大学大学院法学政治学研究科）

（二〇〇三年四月現在、五十音順）

（作成 黒沢文貴）